

# MODIFY

## シリーズ

### 取扱説明書

このたびは、当製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法について説明してあります。ご使用前には必ず最後までお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管ください。  
ヘルメットはいかなる事故にも絶対の安全を保障するものではありません。万一の際の危険の度合いを減らす装備のひとつであり、安全の一要素に過ぎません。安全で快適なバイクライフを楽しむためにも、この取扱説明書の内容をよくご理解くださいますようお願いいたします。

## **⚠ 警告** ヘルメットの保護能力には限度があります。

当製品は国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても、絶対安全というわけではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際の、外部からの衝撃を軽減するものに過ぎません。

## **⚠ 警告** 必ず守っていただきたい注意事項

- ・ **使用前点検を必ず行ってください。**  
構成部品が正しく取り付けられていない場合、ヘルメットが本来持つ機能や保護能力を十分に発揮することができません。よく確認してからご使用ください。
- ・ **頭に合ったサイズのヘルメットをご使用ください。**  
大きすぎるヘルメットは走行中ぐらつき、大変危険です。また、小さすぎるヘルメットは頭を締め付け、痛くなる可能性があります。首を振ってもずれない、頭に合ったサイズのものをお使いください。
- ・ **あごひもはしっかり締めてください。**  
あごひもを締めなかったり、ゆるい締め方では、風圧でずれたり、万一転倒したときに脱げてしまい、頭を守ることができません。
- ・ **走行中にエアベンチレーションのシャッターを操作しないでください。**  
走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり、大変危険です。必ず停止した状態で行ってください。
- ・ **汚れや傷のついたシールドで走行しないでください。**  
視界の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし、傷のついたシールドは新しいシールド（別売）に交換してください。
- ・ **走行中の環境変化にご注意ください。**  
突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。このような状況が予測される時は、走行前にシールドの開度を調整し、通常よりもスピードを抑えて走行してください。
- ・ **大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。**  
ヘルメットは、シェルおよび、衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既に衝撃吸収ライナーが潰れている場合が多く、再度衝撃エネルギーを吸収することができないため、一度衝撃を受けたヘルメットを継続して使用することは非常に危険です。外観に傷などがなくても使用しないでください。
- ・ **ヘルメットの改造は絶対にしないでください。**  
ヘルメットに穴を開けること、内部の衝撃吸収材を削ること、あごひもを改造するなど絶対にしないでください。万一のときヘルメット本来の性能が発揮できないため非常に危険です。また、脱着可能な部品を取り外したまま走行することも大変危険です。

- **ヘルメットおよびシールドのお手入れには薄めた中性洗剤を使用してください。**  
お手入れには中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取るようにしてください。  
熱湯（50℃以上）や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用すると、ヘルメット本体および、シールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。
- **ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他いかなる溶剤もつけないでください。**  
シールドおよび衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され（変形や劣化）、衝撃吸収力が低下する場合があります。
- **ヘルメットは大切に取り扱いってください。**  
ヘルメットは必ず本体またはあごひもを持って取り扱いってください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶと、ヘルメットを落とす恐れがあります。また、ヘルメットをオートバイのホルダーにつけたままの走行は、オートバイの操縦に支障をきたすことになり大変危険ですのでおやめください。
- **ヘルメットを保管するときの注意事項**  
ヘルメットは直射日光の当たる車の中や暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。熱により衝撃吸収ライナー等が変形して衝撃吸収力が低下する恐れがあります。また、落下しやすい場所（オートバイの上など）や高所での保管はしないでください。

## 乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年」です。

ヘルメットは、使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できないことがあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」の有効期限を定めています。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。また、3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。

製品安全協会／日本安全帽工業会

## 目次

ご使用前に必ずお読みください	2～3
もくじ	4
各部名称	5

### 各部取り扱いと脱着方法

インナーバイザー、あごひも	6
エアベンチレーション、内装パッド	7
MODIFY（システム）シールド、フリップアップシステム	8
MODIFY ADVANCE／JETシールド、アドバンスガード	9

### スタイルチェンジの手順

スタイルチェンジの手順、MODIFYチンガードの取り付け方法	10～11
ロックパーツの脱着方法	12～13

### 日常点検の手順

日常点検の手順、MODIFYの点検	14
MODIFY ADVANCE／JETの点検 SGマークの被害者救済制度について	15

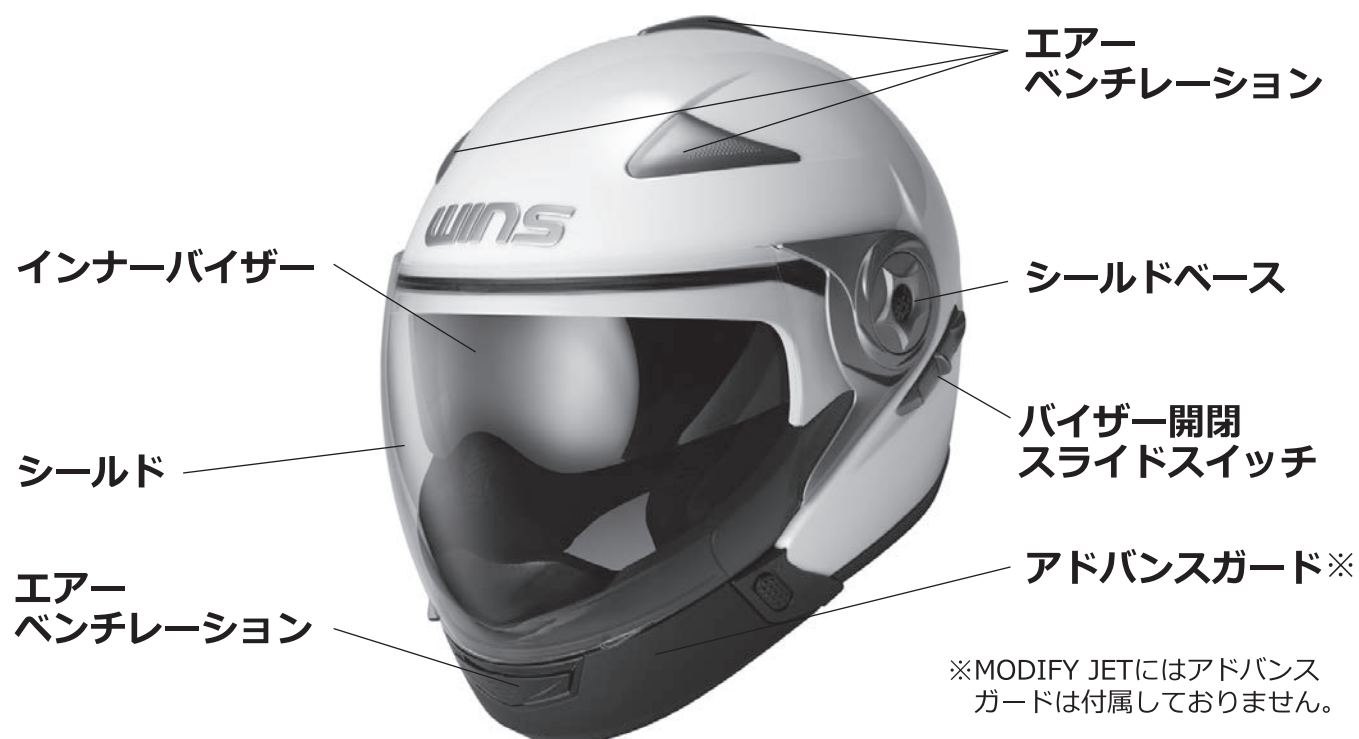
## 各部名称

**MODIFY**



**MODIFY**  
ADVANCE

**MODIFY**  
JET



## ■ インナーバイザーの操作方法



**警告**

トンネル内や夜間走行をするときは、視力低下となり、危険です。インナーバイザーを上げて走行してください。

シールド横のインナーバイザー開閉スライドスイッチをスライドすることで、インナーバイザーの開閉ができます。

必ずフィルムを剥がしてからご使用ください。

## ■ インナーバイザーの脱着方法



### 取り外し

1. フリップアップロックを解除し、フェイスガードを最大限まで上に上げてください。
2. インナーバイザー開閉スライドスイッチをスライドし、インナーバイザーを下ろしてください。インナーバイザーをきちんと下ろしていないと、外れにくいことがあります。
3. インナーバイザーを下に下げながら引き抜いてください。

### 取り付け

インナーバイザー収納部の下側のレールに沿うようにはめて押し込んでください。

装着後は、インナーバイザーがきちんと開閉するか、必ず確認してください。



## ■ あごひもの取り扱いについて



当製品は、簡単にあごひもの脱着および調整ができる「スライダーバックル」を採用しています。



**警告**

あごひもを正しく締めていない場合、万一のときあごひもが外れ、ヘルメットが脱げてしまい大変危険です。

車両に乗る前に、確実にしまっているかご確認ください。



あごひもを締めるときは、スライダーバックルをブラケットに噛み合うまでしっかり差し込んでください。あごひもの締め具合は、あごとあごひもの間に指が1～2本入る程度が適当です。

あごひもを外すときは、ブラケットのストラップを引いて外します。

## ■ エアーベンチレーションの操作方法



走行中のシャッター操作は大変危険です。必ず車両が停止している状態で操作ください。

当製品には、内部の温度調整を行うためのエアーベンチレーションを装備しています。頭部に外気を取り入れる場合は、シャッターをスライドして開けてください。また、寒い日や雨天時はシャッターを閉めると、冷氣や雨などを遮断することができます。

## ■ 内装パッドの取り外し



フリップアップロックを解除し、フェイスガードを上げた状態にしておく、と、交換しやすくなります。

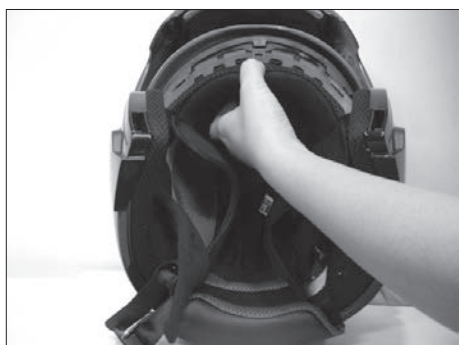
チークパッドをしっかりと持ち、取り付けホックをていねいに外し、パッドを取り外してください。

【注意】パッドは無理に引っばらず、ホックの根元から外すようにしてください。無理に引っばるとホック部分が破損する恐れがあります。



後頭部のセンターパッドのブレードを引っばって外し、次にセンターパッドの前方のフックを端から順に引っばって外します。

## ■ 内装パッドの取り付け



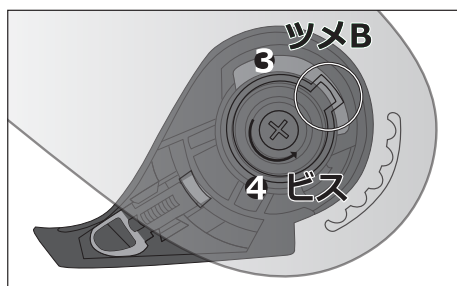
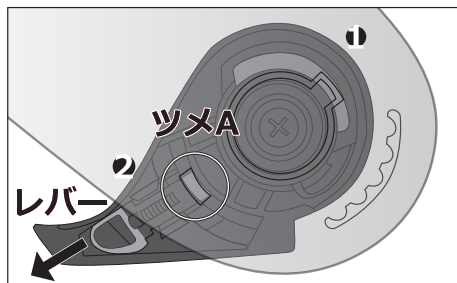
チークパッドの方向に注意し、あごひもを芯材のあごひも通し口に通します。パッドの両端にある芯材をシェルと衝撃吸収ライナーの間へ差し込みます。最後にパッド裏側の取り付けホックをシェル側のホックへ止めてください。

【注意】チークパッドの方向は、取り付けホックの位置で確認してください。



ヘルメットを逆さに置き、ヘルメット前方中央に、センターパッド中央のフックを合わせます。フックを中央から端に向かって順に押し込みます。次に、ヘルメットの後頭部のシェルと衝撃吸収ライナーの間に、センターパッドのブレードを差し込みます。

## ■ システムシールドの脱着方法



### 取り外し

- ① シールドを開ける。  
(全開からひと目盛戻した位置)
- ② レバーを赤矢印方向へ引きながらツメAを外す。
- ③ シールドを手前に引いてツメBを外すとシールドが外れる。
- ④ プラスドライバーでビスを外し、チンガード、ベース等を取り外す。

システムシールド  
脱着方法【動画】



### 取り付け

1. システム用ベース、チンガード等を取り付け、プラスドライバーでビスを締める。
2. シールドのツメBをシールドベースの溝に合わせ、強く押しではめ込む。
3. ツメAが噛み合う位置までシールドをずらし、強く押しではめ込む。

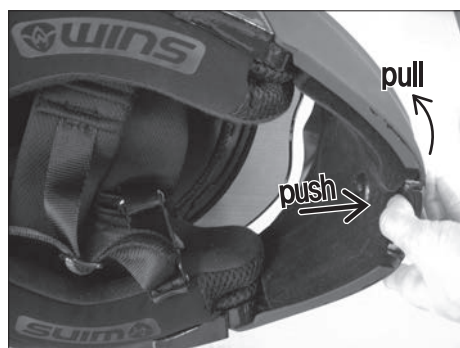
※取り外した部品は元に戻す時に  
必要です。  
紛失しないよう保管ください。



警告

本製品は可動部に使用するパーツです。  
ご乗車前に閉まり具合をご確認ください。

## ■ フリップアップシステムの操作方法 (MODIFYのみ)



警告

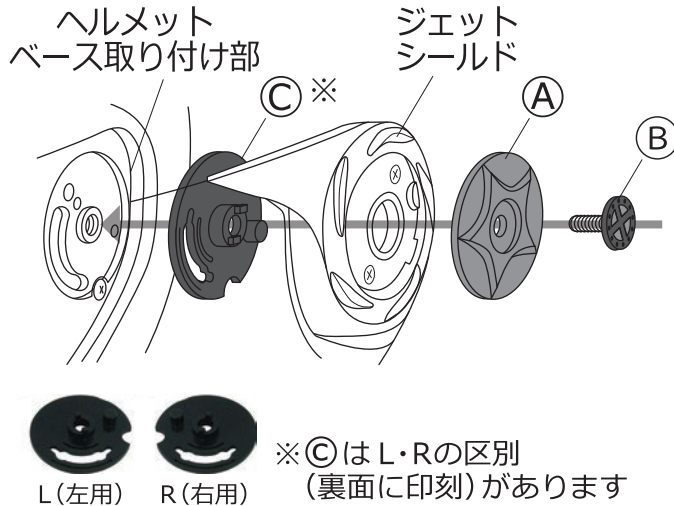
フェイスガードを開けたままの走行は非常に  
危険です。フェイスガードは必ず閉めて走行  
してください。

当製品はフェイスガードを開閉できるシステムを採用  
しています。

フェイスガードの内側にあるフリップアップロックを  
押し解除することができます。ロックを押したまま  
フェイスガードを上下してください。



## ■ ジェットシールドの脱着方法



### 取り外し

ビス②をマイナスドライバー、またはコインで回して外す

### 取り付け

1. ヘルメットのベース取り付け部に◎(左右の区別あり)をはめ込む
2. ジェットシールドを取り付ける
3. ①→②の順に取り付ける

ジェットシールド脱着方法【動画】



## ■ アドバンスガードの操作方法 (MODIFY ADVANCEのみ)



ロックした状態



解除した状態



警告

アドバンスガードは必ずロックしてあることを確認してから走行してください。

警告 ロックしていないと走行中に脱落する可能性があります。大変危険です。

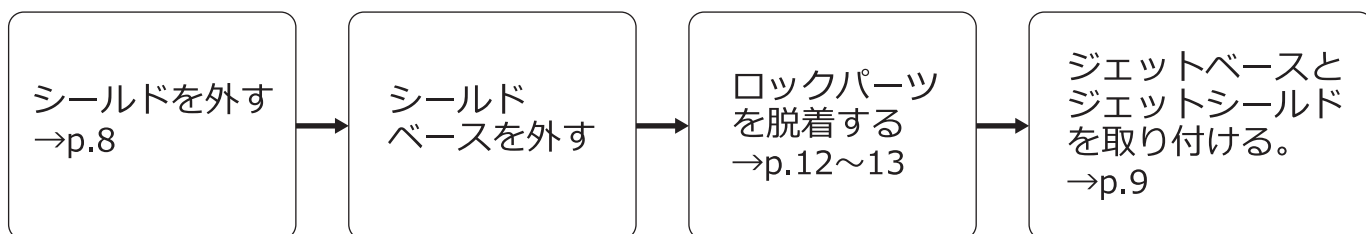
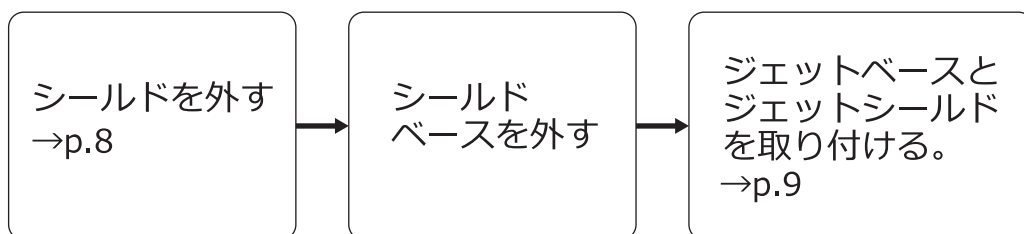
### 取り外し

1. シールドを開けます。
2. アドバンスガードスイッチのロックを解除した状態でヘルメットのアゴ部から取り外します。(反対側も同様です。)

### 取り付け

1. シールドを開けます。
2. アドバンスガードスイッチのロックを解除します。
3. アドバンスガードをヘルメットのアゴ部に差し込みます。両側とも差し込んだ後、アドバンスガードスイッチをロックします。ロックした後は、アゴ部が固定されているか【必ず】確認してください。

## ■ スタイルチェンジの手順



## ■ MODIFYチンガード取り付け方法

(補修用シールドベースの取り付け)





1. ヘルメットのベース箇所に【ベース A】をベース部分に置きます。

(写真は右側です。)



2. ベースに合わせて【チンガード】をセットします。



3. 【ベース B】のツメをチンガードの切れ込みに引っ掛けて、セットします。



4. ワッシャーを置き、ビスで固定します。
5. 反対側も同様に (1) ~ (4) の手順で固定します。



6. チンガードを装着後は、チンガードを開け閉めして、ビスに緩みがないか、チンガードロックがきちんと閉まるか【必ず】確認してください。

## ■ ロックパーツの脱着方法 (補修用シールドベースの取り付け)

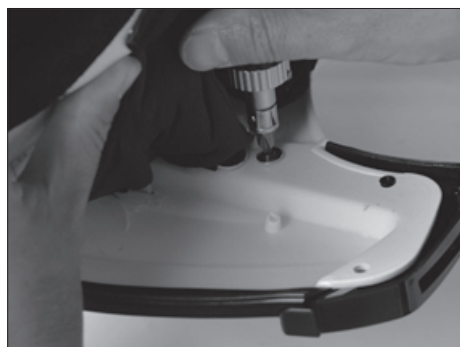
※MODIFY ADVANCE (および MODIFY JET) をシステムヘルメットにチェンジするには、本ロックパーツのほかに別売の【チンガードセット】【システムシールド】が必要です。



### 取り外し

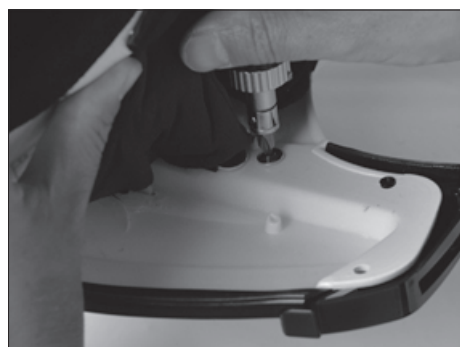
MODIFY ADVANCE の場合は、まずアドバンスガードを外してください。

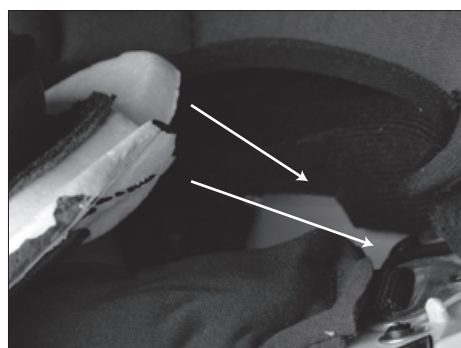
1. シールド固定ビスをマイナスドライバーで外し、チークパッドを外してください。(左右とも)
2. あご部内側のビスを 3 箇所外し、内側のプラスチックパーツを外します。(左右とも)
3. あご部の衝撃吸収材を持ち上げ、あご部内側上部のビスおよびワッシャー 1 箇所を外し、あご部外側のパーツを外します。



### 取り付け

1. あご部外側の MODIFY 用パーツを取り付け、あご部内側上部のビスおよびワッシャー 1 箇所を取り付けます。



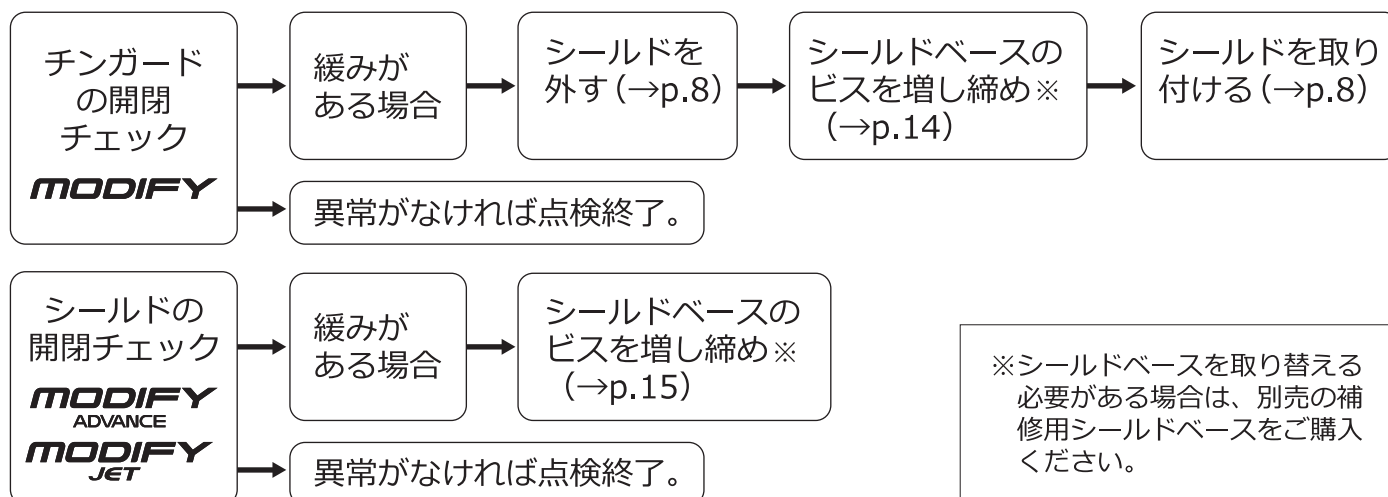


2. あご部の衝撃吸収材を、ヘルメットのシェルに合わせて取り付けます。



3. あご部内側の MODIFY 用パーツを取り付け、ビス3箇所留め、取り付け完了です。

## ■ 日常点検の手順



## ■ MODIFYの点検

システムヘルメットはジェットタイプへの変更に対応するため、構造上長らく使用していくうちにねじの緩みやガタ等が発生する場合があります。ヘルメットを使用されるときは日常点検として【必ず】下記項目をチェックしてください。



### 1. シールドベースのビスの緩み

システムヘルメットのチンガードは開け閉めを繰り返すうちに、シールドベースのビスに緩みが生じる場合があります。ご使用前は、その都度チンガードを開け閉め（写真左上）して、ビスに緩みがないか確認してください。



また、2～3カ月（※）に1度はドライバー等を使って、ビスに緩みがないか点検（写真左中）されることをおすすめします。

※使用頻度に応じて点検回数を調整ください。

シールドの脱着方法→P.8



### 2. チンガードのロック機能

走行前に、チンガードが左右とも完全にロックされているか【必ず】確認（写真左下）ください。

また、絶対にチンガードをあげたまま走行しないでください。

## MODIFY ADVANCE、MODIFY JETの点検



シールドは、開け閉めを繰り返すうちにシールドベースのビスに緩みが生じる場合があります。ご使用前は、その都度シールドを開け閉め（写真左上）して、ビスに緩みがないか確認してください。

また、2～3ヵ月（※）に1度はビスに緩みがないか点検し、緩みがある場合は、マイナスドライバーで増し締め（写真左下）してください。



### SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメット（シールド、インナーバイザーを除く）に欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため、着用者がケガをした場合など、身体的損害について賠償するものです。

ただし、オートバイを特殊な用途（プロオートバイレース、サーカス等）に用いる際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けた場合の負傷等は賠償の対象になりません。

### 製品の欠陥により事故が起きた場合は…

賠償手続きは以下のとおりです。

1. 製品の欠陥による事故が起きたらすぐに製品安全協会 消費者生活用品PLセンターへ連絡してください。
2. 「事故発生届」または「賠償措置実施請求書」を提出してください。（原則として事故発生より60日以内）
3. 事故の状況をうかがうとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 1.～3.までの調査結果を検討し、賠償するかどうかを決定します。

### SGマークについてのお問い合わせ

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F  
一般財団法人製品安全協会 消費生活用製品PLセンター  
TEL：03-5808-3303 または 0120-11-5457



**発売元 株式会社ウインズジャパン**

〒920-0853 石川県金沢市横川3-20

TEL (076) 2596560 FAX (076) 2596561